

6 取り組んでいく方針・テーマなど

解決の方針・課題等

向島ニュータウンの現状・課題

向島新城の現状・課題

課題

課題

○京都市平均よりも、人口減少・少子高齢化が進んでいる。
○生活の困難さを抱える住民が多い。子どもや親への支援、中国帰国者等への支援が求められている。
○住宅や公園などの住環境が老朽化している。
○街区や学区を越えた、まちづくりの拠点が不足している。
○マイカーのない高齢者、障害者等には、買物や交通が不便である。
○緊急災害時に備えて、手助けが必要な人への情報発信が十分ではない。
○新しく住んでもらうために、よいイメージが不足している。

○向島的人口減少・少子高齢化の速度比京都市平均速度要快。
○生活上有困難的居民很多。有必要对儿童、父母、中国归国者等进行支援。
○住宅、公园等设施过于老化。
○跨街区、学区的城市建设据点不足。
○没有自家汽车的高龄者，残疾人士的出行，购物较不方便。
○为防备紧急灾害而对需要帮助者的信息发布不够充分。
○为了吸引新居民居住进来，整体印象不够好。

資源

資源

○自治や防災、地域福祉の活動など、多様な住民団体の活動がある。中国帰国者等、自主グループ活動がある。子ども食堂や学習支援の取組がある。
○異なる国籍や文化的背景を持つ住民、留学生、大学生等の暮らしがあり、多文化・多世代交流の可能性もある。
○小中一貫校が増設されて教育環境が良くなる。
○公営住宅空き家や空き店舗は、まちづくりに活用できる。
○小中学校敷地等が、まちづくりに活用できる。
○安心して住み続けることを目指して、医療介護事業者が活動している。
○向島城などの歴史文化資源、巨椋池干拓地などの農や景観資源等、イメージ付けの資源がある。
○向島駅があり、交通至便である。

○自治、防災、地域福祉等多种住民团体有许多活动。既有中国归国者等自主团体的活动，又有对儿童进行学习支援，开设儿童食堂等活动。
○有着不同国籍与文化背景的居民，留学生，大学生等居住在此，可进行多文化・多世代的交流。
○创建中小学一贯校，教育环境得以优化。
○公营住宅空置房，空店铺可灵活地用于城市建设。
○中小学的旧校址可以灵活地用于城市建设。
○为了让居民们安心居住生活，医疗看护事业等正加紧活动。
○向岛地区具有向岛城等历史文化资源，巨椋池，农业景观等自然资源，可让人留下美好印象。
○设有向岛近铁站，交通便利。

「中国帰国者等」：中国を始めとした多様な国籍や文化的背景を持つ住民の方々を指します。
「小中学校跡地」：小中一貫教育校の創設後活用可能となる向島二の丸小学校・向島中学校敷地のことを指します。
※注：ここで言う「多文化」には、国際的な文化だけでなく、障害者等、様々な方々の多様な生活文化も含まれます。

【中国帰国者等】：指的是以中国归国者为首的具有多样的国籍和文化背景的居民。
【小中学校旧校址】：指成立了中小学一贯教育之后，在地区内可以利用起来的向岛二之丸小学，向岛中学的旧校址。
※这里所谓的“多文化”不是单指国际文化，还包含了残疾人士等在内的居民所拥有的各种生活文化。

向島ニュータウンの目指すまちの姿

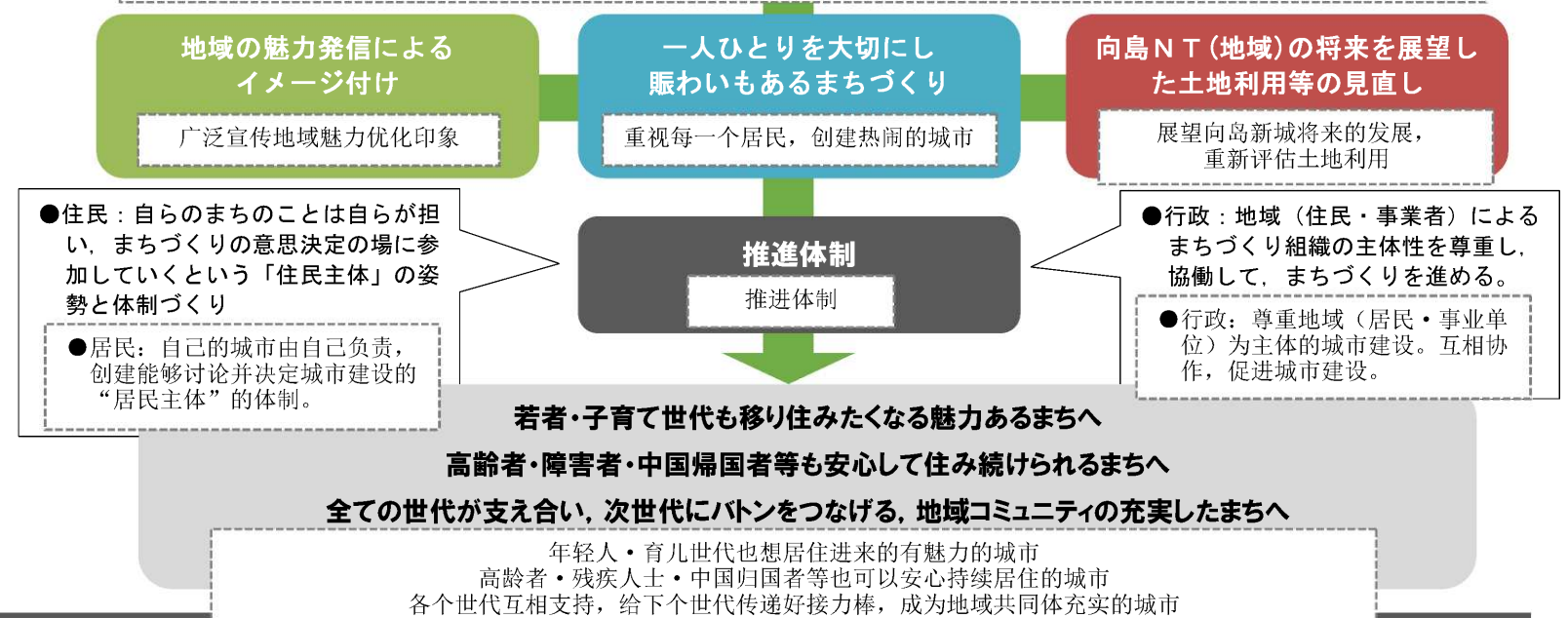
向島新城努力创建的城市面貌

誰もが 生き活きと暮らせる 向島ニュータウン ～暮らし心地を誇れる「多文化※・多世代共生」のまち～

谁都能生机勃勃地生活的向岛新城
～舒适居住令人自豪的“多文化※・多世代共存”的城市～

地域の力を引き出し、活かし合いながら、一人ひとりの住民や住民組織・地域団体、事業者、教育機関、行政など、向島ニュータウンに関わる全ての主体がそれぞれの役割を持って共に連携・協働して、目指すまちの姿の実現に取り組みます。

调动起地域的力量，相互促进，促使每一个居民，居民组织・地域团体，事业者，教育机关，行政等向岛新城的各个主体发挥各自的作用并且一起配合・协作，为实现创建美好的向岛新城而努力。



目指すまちの姿を実現する方針・テーマ

实现向岛新城的目标面貌的方针・课题

方針1

多文化・多世代共生のまちづくりによる、新たな向島のイメージ発信
～誇るべき歴史・自然環境、更には小中一貫教育校創設等による教育環境をアピール～

利用多文化・多世代共存的城市建设，而广泛传播崭新的向岛魅力

～宣传引以为傲的历史・自然环境，设立中小学一贯校的优良教育环境～

方針2

魅力のある住宅・住環境づくり
～将来にわたって安心して住み続けられ、外から来ても住みたくなる住環境を整備～

创建有魅力的住宅・居住环境。

～改善居住环境，使向岛成为未来也能安心居住，外来人也愿意居住的城市～

方針3

安心して子育てができるまちの仕組みづくり
～子育て世帯にとって魅力的な、充実した教育環境や子育て支援の仕組みづくり～

使向岛成为可以安心养育孩子的城市。

～对育儿世代来说，具有魅力的充实完善的教育环境和育儿支援制度的建设～

方針4

誰もが生き活きと生活できるまちの仕組みづくり
～高齢者・障害者・中国帰国者等も生き活きと暮らし、みんなでまちづくり～

创建谁都能生机勃勃地生活的制度。

～使高齢人・残疾人・中国归国者等群体都能生机勃勃地生活，共同建设的城市～

方針5

きめ細やかな防災・防犯のまちづくり

～要支援者も含めて全ての住民が安心できる防災防犯の取組～

周密地进行防灾・防犯训练的城市建设

～加强包括需要帮助者在内的全体居民都能安心的防灾防犯措施～

方針6

便利で賑いのあるまちづくり

～既存の商店街・交通機能・用地等の更なる有効活用による活性化～

使向岛成为方便又热闹的城市

～将现有的商店街・交通功能・用地更有效地利用并使之活性化～

方針7

向島の将来を展望した土地利用等の見直し

～土地利用計画を見直して、住宅全体のあり方を考え直す～

展望向岛未来，重新评估如何利用土地。

～重新评估土地利用的计划。重新考虑住宅整体的面貌～

推進体制

ビジョンを推進するための体制・仕組み
～①ビジョンを進行管理する推進会議の設置、②住民主体の取組支援、③ニュータウン全体のまちづくり組織設立～

为了推进城市建设规划构建完善的体制。

～①设置管理城市建设规划的推进会议。②以居民为主体的应对行动支援③成立向岛整体的城市建设组织～

【ビジョンの読み方】

（１）「重点」について

ビジョンの取組期間（４年間）で、「取組を特に重点的に進めていくべきもの」を示しています。

【重点とする取組の考え方】

- 地域の活性化を図るため不可欠なもの
- 子どもの育みにおいて重大な影響があるもの
- 人命の安全に大きく関わるもの

（２）取組の段階について

アクションプログラムと具体的な取組については、継続検討が必要なものや将来的な構想段階のものも多数含まれていることから、各項目について取組期間（４年間）開始時の状況を「実施（調整）」、「継続検討」、「将来構想」の３段階で示しています。

●各段階の意味

実施（調整）	すぐに取組を始められる（またはすでに始まっている）状況にあるものを示しています。
継続検討	具体的に取組を始められる段階ではなく、ビジョン取組期間中に引き続き検討を行い、実施できる段階になったことについては取組を行うものを示しています。
将来構想	現時点ではまだアイデアや構想、イメージ段階のものであり、ビジョン期間中にまず検討から始める必要があるものを示しています。

（注）：原則として「実施」に向けた現在の取組段階を示しています。ただし、取組内容に「検討する」と表記しているものについては「検討すること」に対する取組段階を示しています。

（３）取組の主体について

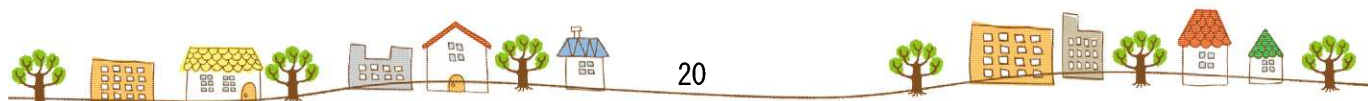
ビジョンの取組期間開始時で考えられる各取組の担い手について、「住民団体等」、「事業者」、「京都市」、「公社」の４種類で示しています。

●取組主体の内容

ビジョンに記載する表現	今後担い手を具体化する際に対象となる主体の想定	
住民団体等	地域団体・各種団体	自治連合会、自治会、各種団体、学区社協 等
	市民活動団体・NPO	具体的な課題やテーマ設定のもと市民主体の公益的な活動を行う団体
事業者	一般企業等	一般的な事業者（商店、小売等）、UR都市機構など
	大学	京都文教大学 等
	公的事業者	児童館・幼稚園・保育園・高齢者・障害者施設運営やサービス提供等、行政からの委託・公的補助等で公益的事業を行っている事業者
京都市	京都市	各部署・学校
公社	京都市住宅供給公社	—

●記載順について

ビジョンでは、住民・事業者・行政がパートナーシップを組み取組を進めていくことを基本姿勢としています。よって、ビジョンに示している担い手の記載順は概ね、「中心となる主体」→「中心となる主体と連携・協働する主体」を示しています。



方針1

多文化・多世代共生のまちづくりによる、新たな向島のイメージ発信

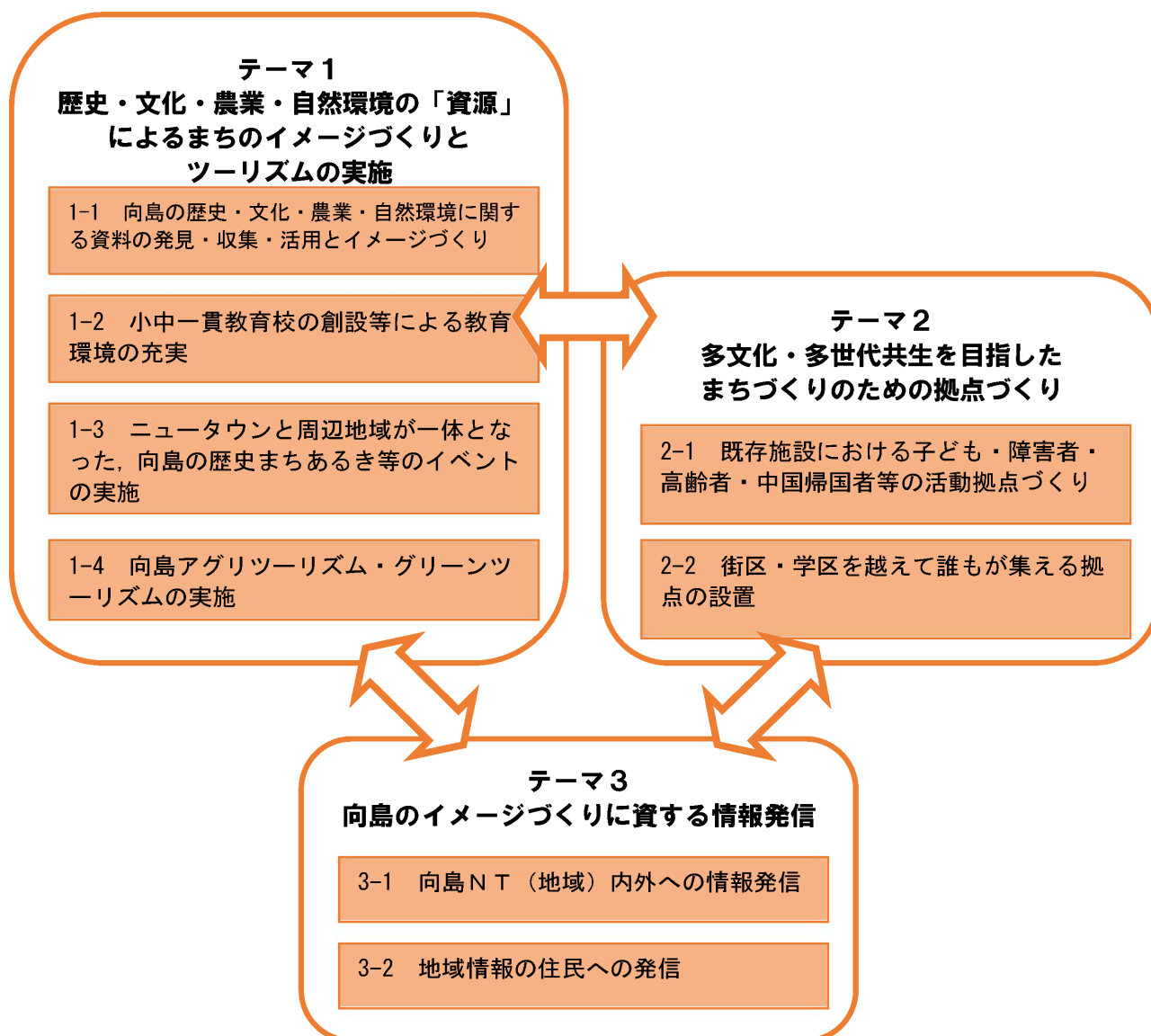
～誇るべき歴史・自然環境、更には小中一貫教育校創設等による教育環境をアピール～

向島には、かつて秀吉が伏見城の向かいに築いた向島城があり、桃山文化の舞台となった歴史景観にも恵まれています。大規模農地である巨椋池は、治水や干拓の歴史があり、水辺の自然環境や太閤堤や集落景観といった歴史景観を備えています。

しかし、これらの豊かな資源があることは住民にあまり知られておらず、まちのイメージは必ずしも魅力的に伝えられているとはいえません。向島ならではの豊かな歴史文化や自然環境を広く発信し、訪れる人を呼び込む取組によって、移住・定住につながるイメージづくりを目指します。

また、身近な既存施設を活用すると共に、街区や学区を越えて誰もが集える拠点を設置することで、多文化・多世代共生のまちづくり拠点整備を目指します。

図 多文化・多世代共生のまちづくりによる、新たな向島のイメージ発信



テーマ1 歴史・文化・農業・自然環境の「資源」によるまちのイメージづくりとツーリズムの実施

ニュータウン居住者にあまり知られていない向島ならではの豊かなまちづくり資源を発見・収集・情報発信し、まちあるきやイベントなどの体験の場を提供することによって、まちに対する愛着や誇りを育みます。

向島ニュータウンの住民と周辺地域の住民が取り組むことにより、向島地域のまちづくりの第一歩となることを目指します。

アクション プログラム 1-1

向島の歴史・文化・農業・自然環境に関する資料の発見・収集・活用とイメージづくり

向島ならではの資源を発掘し、まちづくりに活かしていくために、向島の歴史・文化・自然環境に関する学習教材を作成すると共に、図書館を拠点とした情報発信を進めます。ルートにおけるサイン整備やマップづくり、ニュータウン内の魅力景観の発掘を図るなど、まちあるきの環境整備を整えます。

具体的な取組	内容	重点	取組段階	取組主体
1 向島図書館等を拠点とした資料の収集とイメージづくり	向島図書館等を拠点として、向島の歴史・文化・農業・自然に関する資料を収集し、情報発信することでイメージづくりを図ります。		実施（調整）	京都市 住民団体等
2 立て札・碑・案内板等の設置	まちあるきのルートに、向島城・豊後橋等史跡の立て札・碑・案内板等を設置します。		実施（調整）	京都市 住民団体等
3 向島の紹介本・小中学校学習教材の作成	子ども達のふるさと意識を育てるために、学校教育に活用できる向島の紹介本・小中学校学習教材を作成します。	●	継続検討	住民団体等 京都市
4 向島ニュータウンの魅力景観発掘とイメージづくり	まちの魅力を再認識するために、桜並木・公園や街路樹等の魅力景観を発掘し、情報発信します。		将来構想	京都市 住民団体等



アクション

プログラム 小中一貫教育校の創設等による教育環境の充実

1-2

小中一貫校の開設による教育環境が向島ニュータウンの新たな魅力となるように、先進的な教育内容を策定するとともに、向島藤の木学区においても小・中の連携による教育内容の充実を図ります。また、将来的には、留学生・在日外国人・中国帰国者等、国籍や文化的背景の異なる生活文化があることを活かした、地域ぐるみによる国際性豊かな教育環境づくりも目指します。

具体的な取組	内容	重点	取組段階	取組主体
5 向島中ブロックでの小中一貫校の創設による先進的な教育内容の策定	向島中ブロックでの小中一貫校創設を契機とし、学校・PTA・地域が連携して先進的な教育内容を地域ぐるみで策定することにより、市内外に誇れる教育環境の充実を図ります。	●	継続検討	京都市 住民団体等
6 向島藤の木学区（向島東中ブロック）での小中一貫教育の推進	向島藤の木学区（向島東中ブロック）においても小中一貫教育の推進による教育内容の充実を図ります。	●	継続検討	京都市 住民団体等

アクション

プログラム ニュータウンと周辺地域が一体となった、向島の歴史まちあるき等のイベントの実施

1-3

地域の情報発信とイメージづくりのために、ニュータウン居住者に加えて、外部からの参加者も対象として、歴史と文化の向島のまちをPRするまち歩きを行います。秋の祭典や千姫行列等の地域のまつりを開催し、向島ニュータウンと周辺地域の連携した取組を進め、人材の発掘とネットワークを拡げます。

具体的な取組	内容	重点	取組段階	取組主体
7 まちあるきマップ作成と歴史まちあるき企画の実施	地域と大学が連携し、向島城や伏見城等の歴史資源を活かした、歴史まちあるきを行います。	●	実施（調整）	住民団体等 事業者
8 向島秋の祭典・千姫行列等地域のまつりの実施	向島秋の祭典や千姫行列等地域のまつりの充実を図り、周辺地域と連携して、人材の発掘とネットワーク化を図ります。		実施（調整）	住民団体等



アクション

プログラム 向島アグリツーリズム・グリーンツーリズムの実施

1-4

歴史・文化資源と同様に、ニュータウン居住者に知られていない、向島ならではの農業や自然環境を知ってもらうために、自然観察や農の体験の場を提供することによって、まちに対する愛着や誇りを育てます。

具体的な取組	内容	重点	取組段階	取組主体
9 農を活かした来訪者の呼び込み	農家と連携し、京野菜収穫体験・ファーマーズマーケット等による観光客誘致を図ります。		継続検討	住民団体等 事業者
10 農を活かしたインバウンド需要の掘り起こし	農家が行っている、農業体験・酒蔵見学等による外国人観光客の呼び込みを地域ぐるみで支援します。		継続検討	住民団体等 事業者
11 農業体験・子どもの食育の体験学習の企画	農家の協力を得て、小中学校における農業体験や食育の体験学習の機会づくりについて企画します。		継続検討	住民団体等 事業者
12 水辺の自然環境を活かした学習体験ツアーの実施	環境 NPO や大学と連携して、水辺の生き物・渡り鳥等の自然観察や学習ツアーを実施します。		実施（調整）	住民団体等 事業者
13 景観資源を楽しむグリーンツーリズムの実施	巨棕池干拓地全体を対象として、自然環境・葭原の景観等を楽しむグリーンツーリズムを実施します。		将来構想	住民団体等 事業者



つばめのねぐら観察会の様子



京都文教大学主催による

「ふしみこども記者向島農業体験」の様子



テーマ2 多文化・多世代共生を目指したまちづくりのための拠点づくり

ニュータウン全体や周辺地域も含めた向島全体で集うことができるまちづくりの拠点が求められています。ビジョンの実現に向けて、多文化・多世代共生を目指したまちづくりの拠点づくりを目指します。

アクション プログラム 2-1

既存施設における子ども・障害者・高齢者・中国帰国者等の活動拠点づくり

高齢者や障害者、子育て層は、より身近なところに活動の場を求めていることから、既存施設（小学校・児童館・公社等所有スペースや市営住宅空き家・集会所等）について、まちづくり等の街区・学区毎の活動拠点としての有効活用を図ります。

具体的な取組	内容	重点	取組段階	取組主体
14 既存施設の活動拠点としての活用	小学校・児童館・公社等所有スペース等の既存施設について、まちづくりの活動拠点として有効活用します。	●	継続検討	京都市 公社 事業者 住民団体等
15 市営住宅集会所・空き家の改修と活用	市営住宅の空き家や集会所等の既存施設について、まちづくりの活動拠点として有効活用します。	●	継続検討	京都市 住民団体等



第1街区集会所



アクション

プログラム 街区・学区を越えて誰もが集える拠点の設置

2-2

平成 31 年度をめどに、向島南・向島二の丸・二の丸北小学校の統合校と向島中学校を一体化した小中一貫教育校の開校が計画されています。開校後の向島二の丸小・向島中学校敷地におけるまちづくりの拠点の整備について検討を進めるとともに、まちづくり拠点の運営主体設立についても準備を進めます。

具体的な取組	内容	重点	取組段階	取組主体
16 多文化・多世代交流の機会づくり	国籍や世代をこえた住民同士の交流，理解の促進を図るために，身近な街区単位で多文化・多世代交流の機会づくりを進めます。	●	継続検討	住民団体等
17 留学生・中国帰国者等と子どもたちの文化交流促進	留学生・中国帰国者等と子どもたちの文化交流を促進します。		継続検討	住民団体等 公社
18 街区・学区を越えて誰もが集える多文化・多世代のまちづくりを進めるための拠点の整備の検討	向島地域の住民が参加して，学校敷地における街区・学区を越えて誰もが集える多文化・多世代のまちづくりを進めるための拠点の整備について検討を進めます。	●	実施（調整）	京都市 住民団体等
19 多文化・多世代のまちづくりを進めるための拠点の運営主体となる住民組織，NPO等設立の検討	多文化・多世代のまちづくりを進めるため拠点整備の検討と並行して，運営主体設立を進めます。	●	継続検討	住民団体等 京都市



テーマ3 向島のイメージづくりに資する情報発信

ニュータウン居住者にあまり知られていない向島ならではの豊かな歴史・文化を収集・情報発信し、ニュータウンの住民に活動をPRして参加を促進します。

若者・子育て世代の流入・定着に向けて、インターネットを活用した情報発信を行います。インターネットの他に、紙媒体のまちづくり通信発行や、京都文教大学による地域放送局（団地ラジオ）の開設など、多様な媒体によって情報発信を進めます。

アクション

プログラム 向島ニュータウン（地域）内外への情報発信

3-1

若者・子育て世代の流入・定着に向けて対外的に情報発信することを目的として、向島ニュータウンのまちづくりポータルサイトを開設します。

具体的な取組	内容	重点	取組段階	取組主体
20 まちのイメージづくりと情報発信	向島ニュータウンのイメージづくりを目指して、若者・子育て世代に向けたメディアを活用した情報発信を行います。	●	実施（調整）	京都市 住民団体等
21 ポータルサイト開設・運営	まちづくりのポータルサイトを開設・運営し、インターネットを活用した情報発信を行います。	●	継続検討	京都市 公社 住民団体等

アクション

プログラム 地域情報の住民への発信

3-2

インターネットの他に、紙媒体のまちづくり通信発行や、文教大学による地域放送局（団地ラジオ）の開設など、多様な媒体によって情報発信を進めます。

具体的な取組	内容	重点	取組段階	取組主体
22 タウン誌の発行	まちづくり通信を定期発行し、紙媒体の地域情報発信を活用して、情報の共有を行います。		実施（調整）	京都市 住民団体等
23 地域放送局（団地ラジオ）の設立・運営	大学の地域放送局の取組を地域ぐるみで支援し、住民が参加する情報発信ツールとして設立・運営します。		継続検討	住民団体等 事業者



方針2

魅力のある住宅、住環境づくり

～将来にわたって安心して住み続けられ、外から来ても住みたくなる住環境を整備～

向島ニュータウンは、計画的に整備された都市基盤のストックを備えており、市営住宅、賃貸住宅、分譲住宅といった住宅ストックが立地しています。これらのストックの計画的な管理や整備、活用により、安心して住み続けることができる環境づくりを進めます。あわせて、若者・子育て世代の受け皿となる住宅の整備を図り、外から来て住みたくなるまちの魅力向上を進めます。

図 魅力ある住宅、住環境づくり

テーマ4

若者・子育て世代から高齢者世代まで全ての世代のニーズを踏まえた住宅の魅力・機能の向上

市営住宅のアクションプログラム

- 4-1 市営住宅等における若者・子育て世代転入促進を図るリノベーション等
- 4-2 市営住宅一般住戸の空き家整備時等における仕様改善
- 4-3 市営住宅空き家の様々な活用
- 4-4 市営住宅集会所のリニューアル整備

分譲住宅のアクションプログラム

- 4-5 小中一貫教育校の創設等による世帯流入の受け皿としての住戸整備
- 4-6 既存分譲住宅の魅力向上

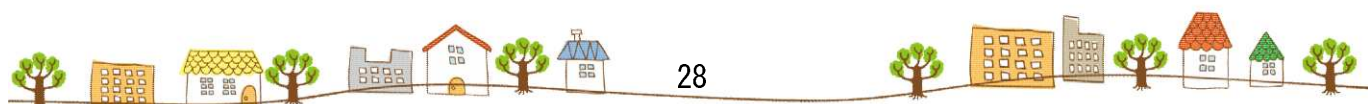
連携

テーマ5

共用施設の再生・バリアフリー化によるまちの魅力向上

公園のアクションプログラム

- 5-1 四季折々の修景を有し、市内外から訪れたいくなる、癒しの場としての向島中央公園等の再整備
- 5-2 街区児童公園（二の丸、丸町）の住民と行政の連携による適切な管理
- 5-3 老朽化した共用施設、設備等の補修・改修
- 5-4 市営住宅E Vホール付近へのデイスービス車両等の乗り入れ環境の向上



テーマ4 若者・子育て世代から高齢者世代まで全ての世代のニーズを踏まえた住宅の魅力・機能の向上

市営住宅のリノベーションや空き家対策の実施、分譲住宅の魅力向上の支援に取り組むことにより、住宅ストックの魅力の向上を進めます。若者・子育て世代流入の受け皿として、向島二の丸小学校・向島中学校敷地における住宅確保について検討します。

アクション プログラム 4-1	市営住宅等における若者・子育て世代転入促進を図るリノベーション等
-----------------------	----------------------------------

若者・子育て世代の流入・定着のために、市営住宅やUR賃貸住宅における転入促進リノベーション等の施策を拡大します。

具体的な取組	内容	重点	取組段階	取組主体
24 市営住宅の子育て世帯向けのリノベーション	子育て世帯向けリノベーション（平成28年度は年間10戸の整備）について、施策を拡大します。	●	実施（調整）	京都市
25 UR都市機構における若年者層向けの間取り改善	UR都市機構の賃貸住宅において、若年者層向けの間取り改善を行います。	●	継続検討	事業者



子育て世帯向けにリノベーションされた市営住宅

アクション プログラム 4-2	市営住宅一般住戸の空き家整備時等における仕様改善
-----------------------	--------------------------

子育て世代や高齢者が暮らしやすい浴室設備などの仕様改善を行います。

具体的な取組	内容	重点	取組段階	取組主体
26 市営住宅の空き家整備時等における設備改善	市営住宅一般住戸の空き家整備時等において、浴室設備などを改善します。	●	継続検討	京都市



アクション
プログラム 市営住宅空き家の様々な活用
4-3

増加を続ける市営住宅の空き家をまちづくりの資源と捉えて、学生や事業者の入居、子育て支援による活用を想定した、目的外利用などについて検討を進めます。

具体的な取組	内容	重点	取組段階	取組主体
27 空き家活用による学生入居	市営住宅の空き家に学生が居住し、まちづくり活動に参加してもらえる活用を進めます。	●	継続検討	京都市
28 空き家活用による事業者等入居	市営住宅の空き家に事業者が入居し、まちの活性化につながる取組を行ってもらえる活用を進めます。	●	継続検討	京都市
29 空き家活用による地域団体等の子育て支援・障害者支援	市営住宅の空き家について、子育て支援や障害者支援の拠点、障害者のグループホームとして活用を進めます。	●	継続検討	京都市 住民団体等
30 空き家転用による若者・子育て世代入居促進	市営住宅の一部を転用し、収入等の制限なく、若者・子育て世代が入居できる住戸として再整備します。		将来構想	京都市

アクション
プログラム 市営住宅集会所のリニューアル整備
4-4

高齢者や障害者、子育て層は、より身近なところに活動の場を求めていることから、街区集会所や住棟の空き室等を活用した活動拠点づくりを進め、その成果をより多くの街区に拡げていきます。

具体的な取組	内容	重点	取組段階	取組主体
31 市営住宅集会所のリニューアル整備	市営住宅集会所について、地域団体運営による街区毎の子育てサポート、高齢者サポート、障害者のまちづくり参加支援のためのリニューアルを行います。	●	継続検討	京都市 住民団体



アクション

プログラム 小中一貫教育校の創設等による世帯流入の受け皿としての住戸整備 4-5

若者・子育て世代流入の受け皿として、向島二の丸小学校・向島中学校敷地における分譲住宅等の整備を検討します。

具体的な取組	内容	重点	取組段階	取組主体
32 分譲住宅整備の検討	まちづくりビジョンの実現を目指して、学校敷地における分譲住宅等の整備を検討します。		継続検討	事業者 京都市

アクション

プログラム 既存分譲住宅の魅力向上 4-6

分譲住宅ストックの魅力向上を目指して、改修や耐震化における管理組合の支援策について検討を進めます。

具体的な取組	内容	重点	取組段階	取組主体
33 分譲住宅の価値や魅力向上策の検討	管理組合における改修・耐震化の検討を支援すること等、分譲住宅の価値や魅力向上策について検討します。		継続検討	住民団体等 京都市



テーマ5 共用施設の再生・バリアフリー化によるまちの魅力向上

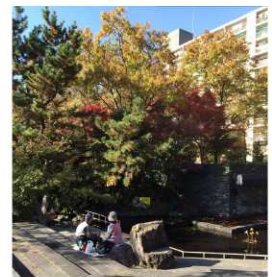
四季折々の修景を有し、市内外から訪れたいくなる癒しの場として、中央公園を再整備するとともに、東公園とも合わせて安心安全な歩行空間の確保を図ります（バリアフリー化等については継続して検討します。）。

アクション プログラム 5-1

四季折々の修景を有し、市内外から訪れたいくなる、癒しの場としての向島中央公園等の再整備

自然公園としてニュータウンのシンボルとなっている中央公園等について、公園設備の更新や樹木の剪定実施によって再整備を進めます。

具体的な取組	内容	重点	取組段階	取組主体
34 中央公園、東公園の樹木等の再整備	四季折々の修景を有し、市内外から訪れたいくなる、癒しの場として、中央公園を再整備するとともに、東公園とも合わせてバリアフリー化等も検討を進めます。	●	実施（調整）	京都市 住民団体
35 地域住民による利用促進のための手法の検討	中央公園、東公園について、住民自らが利用促進のための手法を検討し、子どもから大人まで、散策・利用できる公園を目指します。		継続検討	住民団体等

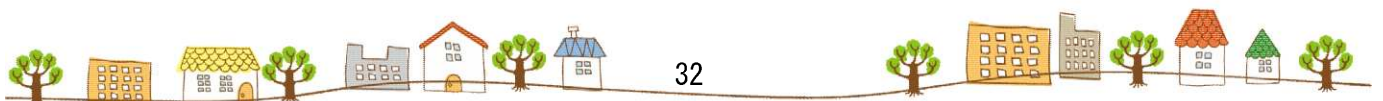


アクション プログラム 5-2

街区児童公園（二の丸、丸町）の住民と行政の連携による適切な管理

身近な憩いの場である街区公園について、住民参加のもとで再整備や維持管理のあり方について検討を進めます。

具体的な取組	内容	重点	取組段階	取組主体
36 管理のあり方検討	街区公園について、住民参加のもとで再整備や維持管理のあり方について検討を進めます。		継続検討	住民団体等 京都市



アクション

プログラム 老朽化した共用施設、設備等の補修・改修

5-3

老朽化した横断防止柵等の補修・再塗装を行うとともに、住棟のエレベーターホール周り、駐輪場等の共用部等の再整備を進めます。また、まちづくりへの参加のきっかけづくりとして、住民参加のもとで外灯、サインなど、老朽化した共用施設について再整備を進めます。

具体的な取組	内容	重点	取組段階	取組主体
37 老朽化した横断防止柵等の補修・再塗装など	老朽化した横断防止柵等について、補修・再塗装することにより、機能や美観を回復します。		実施（調整）	京都市
38 市営住宅・住宅供給公社共用施設、設備の改修	住棟のエレベーターホール周り、駐輪場等の共用部等について、住民参加のもとで再整備を進めます。		実施（調整）	京都市 公社 住民団体等
39 住民参加による老朽化した共用施設の再整備	まちづくりへの参加のきっかけづくりとして、住民参加のもとで外灯、サインなど老朽化した共用施設について再整備を進めます。		継続検討	住民団体等 京都市 公社

アクション

プログラム 市営住宅EVホール付近へのデイサービス車両等の乗り入れ環境の向上

5-4

高齢者や障害者の医療介護サービス利用に配慮して、エレベーターホール付近にサービス車両が乗り入れできるようにします。

具体的な取組	内容	重点	取組段階	取組主体
40 進入路調査・検討等	エレベーターホール付近に医療介護サービス車両等が乗り入れできるようにします。	●	継続検討	京都市 住民団体等 事業者



方針3 安心して子育てができるまちの仕組みづくり

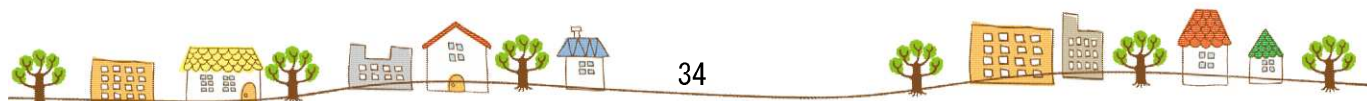
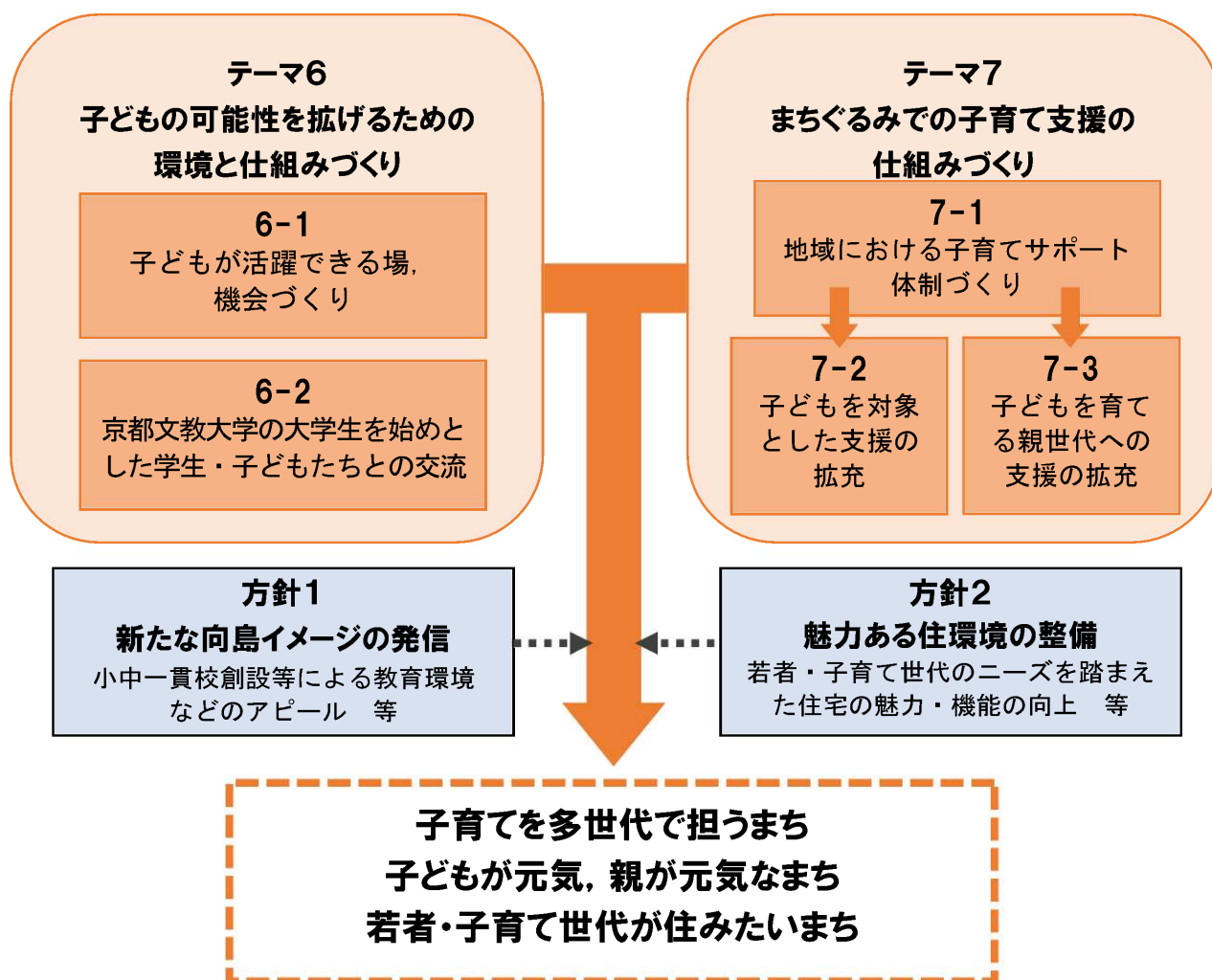
～子育て世帯にとって魅力的な、充実した教育環境や子育て支援の仕組みづくり～

向島ニュータウンは少子高齢化が進み、15歳未満人口の数は平成7年からの20年で約3割に減少しています。活気にあふれ、持続可能なまちとなるためには若者・子育て世代が集まり、心地よく暮らせるまちにしていける必要があります。

向島ニュータウンは自然が豊かであり、子育て支援施設も充実しています。住民主体による子どもの見守り、居場所づくりの活動が充実しつつあり、親同士のつながりづくりの活動が広がってきています。そして、平成31年度には小中一貫校も開校する予定です。

これらの資源を活かし、まち全体で子育てに関わり、誰もが安心して子育てができる環境をつくっていくとともに、小中一貫校創設等による教育環境のアピール（方針1）や、魅力ある住環境の整備（方針2）をあわせて進めることにより、若者・子育て世代のニーズに対応した、住みたいまちを実現します。

図：方針3の各テーマとアクションの関係性



テーマ6 子どもの可能性を拡げるための環境と仕組みづくり

既存施設や京都文教大学など、まちにある資源を活かしながら、まち全体で子どもが楽しみながら、学び、活躍できる場や機会、向島ならではの多文化交流も進めることで、向島の子どもたちが将来への様々な可能性を持ち、生き活きと育つまちにしていきます。

アクション

プログラム 子どもが活躍できる場、機会づくり

6-1

向島にある様々な資源を活用する視点で、子どもが活躍できる場や機会づくりを進めていきます。具体的には、地域放送局（団地ラジオ）の番組づくりや向島の魅力発信のためのポータルサイトの記事の取材に関わるなどをつくっていきます。また、友達などと落ち着いた環境で勉強できる場が欲しいとの中学生の希望も踏まえ、図書館等既存施設の有効活用など、勉強できる場所の確保について検討します。

また、学校等以外、放課後や休日に子どもたちが楽しみながら、学べる拠点として「アフター5スクール」の創設に向けた検討と取組を進めます。既存施設等の活用、将来的には新規施設において、住民がそれらを運営していくこと（アクションプログラム7-1：「地域先生コミュニティ」等とも関連付けながら）で、向島ならではの子どもたちの可能性を広げ、活躍できる環境づくりを進めます。

具体的な取組	内容	重点	取組段階	取組主体
41 地域放送局・タウン誌やポータルサイトによる情報発信への子どもの参加	方針1テーマ3で取り組むこととしている向島の情報発信を行うポータルサイトの記事づくりや京都文教大学等で取り組まれている地域放送局（団地ラジオ）の番組づくりに子どもたちが参画できる仕組みを検討します。		継続検討	京都市 事業者 公社 住民団体等
42 中学生の勉強場所の確保	児童館・図書館等に中学生の勉強場所を確保することを検討します。	●	継続検討	京都市 住民団体等
43 「アフター5スクール」づくりの推進	住民主体による、子どもが楽しみ学べる拠点「アフター5スクール」づくりの推進を行います。 まずは既存施設において実施を検討し、将来的には方針1テーマ2等に掲げる「街区・学区を越えて誰もが集える多文化・多世代のまちづくりを進めるための拠点」における取組を想定します。	●	将来構想	住民団体等



アクション

プログラム 京都文教大学の大学生を始めとした学生・子どもたちとの交流 6-2

向島ニュータウンに近接し、これまでからまちづくりや住民等との交流に取り組んできている京都文教大学と連携し、学生による子どもたちへの学びの支援や中国帰国者等の子どもたちへのサポートや交流を実施します。

また、留学生と子どもたちとの交流も広げ、向島ならではの子どもの可能性を広げる住民主体の取組を推進します。

具体的な取組	内容	重点	取組段階	取組主体
44 京都文教大学の大学生との交流実施	学生による児童館等での中国帰国者等の子どもへの日本語通訳サポートなど、学生と子どもたちとの交流、そのサポートに取り組めます。		実施（調整）	住民団体等事業者
45 向島学生センター留学生との交流実施	向島学生センターに住む留学生と向島の子どもたちとの交流を通じて多文化交流の機会をつくりまします。	●	実施（調整）	住民団体等公社

Asia & Africa Special Film Festival Vol.8

Date: February 4th (SAT.) 10:30-17:00
Doors open at 10:00 a.m.
At Mukaijima Gakusei Center Seminar House !

Fee: Free Capacity: 80 people

(Time Schedule)
part1 10:45-12:35
JOURNEY TO THE WEST
"It's time to kick some legendary tale"
Director: Stephen Chow / 2013 / China / 110min
part 2 13:40-16:00
ENGLISH VINGLISH
Director: Gauri Shinde / 2012 / India / 134 min

(Features)
Photo Exhibition by Kyoto Bunkyo University featuring China and Thailand
Nepalese quilt sale
and so on

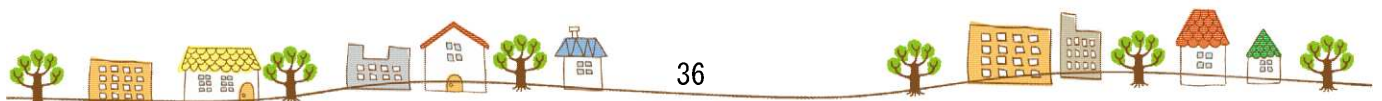
This film event is organized by a committee composed of Kyoto Bunkyo University, local residents and exchange students, aiming at offering an opportunity to think about building a multicultural community. Celebrating the 6th anniversary of the event, we feature two movies from China and India. You can also enjoy special events including the photo exhibition by Kyoto Bunkyo students and Nepalese quilt sale. It's admission free. Please join us!

●Sponsored by Asia & Africa Special Film Festival Executive Committee
●Organized by A Study for the Community Design of the Mukaijima New Town Area, Kyoto City, in a Collaborative Way of Kyoto Sangyo University and Local Residents
●Cooperated by Kyoto Public Housing Supply Corporation, Association for Regional Development of Mukaijima 平成21年度新都市圏人型まちづくり推進協議会



留学生と大学生、子どもたちの交流

アジア・アフリカとびっきり映画祭英文チラシ



テーマ7 まちぐるみでの子育て支援の仕組みづくり

子育て支援に必要な拠点・場と担い手の充実を図り、地域における子育てサポートの体制づくりを進めます。その上で、困難を抱える子どもへの食・居場所・学習等の支援や親同士のつながりづくり、相談体制づくり等の支援を通じて、誰もが安心して子育てができる仕組みを整えます。

アクション

プログラム 地域における子育てサポート体制づくり

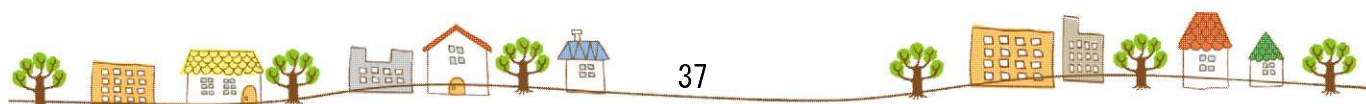
7-1

地域における子育て支援に不可欠な「拠点・場づくり」と「サポートの担い手づくり」の2つの視点から、子育てサポート体制づくりに取り組みます。

拠点・場づくりの視点では、既存施設の改修・活用により、子育てに必要なサポートの場の提供について検討、実施を進めます。

また、サポートの担い手づくりの視点では、子育て支援施設、自治会や街区毎のサポート体制の連携による、支援の担い手の育成や広がりづくり、担い手が高齢化等により少なくなっている現状を踏まえ、世代交代を促進していきます。また、まち全体で子育てを支えていく仕組みとして、子育てを終えた世代や学校教員 OBOG などが「地域先生」として活躍するコミュニティづくりを検討、立ち上げに向けて取り組みます。

具体的な取組	内容	重点	取組段階	取組主体
46 市営住宅各街区集会所等既存施設の活用・改修による必要なサポート実施	例えば、市営住宅の各街区集会所等の既存施設活用・改修などにより、子育てサロン、一時預かり、子育て相談の場の提供など、子育てに必要なサポートを実施します。	●	継続検討	京都市 住民団体等
47 子育て支援施設と自治会等の連携構築と担い手の育成・世代交代の促進	自治会や街区毎の子育てサポート体制等と児童館や保育園・幼稚園等子育て支援施設との連携構築を図り、担い手の育成や世代交代の促進を検討します。		継続検討	住民団体等
48 子育てOBOGや学校教員OBOGによる「地域先生コミュニティ」づくり	子育てを終えた住民や学校教員のOBOGなど、子育て支援や子どもに関わる住民の集まりとして「地域先生コミュニティ」づくりを検討します。	●	将来構想	住民団体等



アクション
プログラム 子どもを対象とした支援の拡充
7-2

学校等既存の教育や居場所等だけでは十分とは言えない環境にある子どもたちが安心できるために、街区を越えて必要となってきた食の支援、学習支援、安心安全な居場所づくりについて、充実を図ります。またこれらの取組から見てきた子どもたちが抱える状況や課題について、市や住民団体等とも必要に応じて共有しながら、必要な支援や制度の検討等につないでいきます。

具体的な取組	内容	重点	取組段階	取組主体
49 京都文教マイタウン向島（MJ）での子ども食堂、学習支援の取組充実	これまでも取り組まれ、ニーズも増えつつある京都文教マイタウン向島（MJ）でのキッズキッチンや学習支援の取組の充実（担い手や支援者の充実を含む。）を行います。	●	実施（調整）	住民団体等 京都市 事業者
50 夜の安心安全な居場所、食の支援、学習支援	MJや1街区集会所での取組を含め、夜の安心安全な居場所づくりや食、学習支援について検討、実施します。	●	継続検討	住民団体等 京都市 事業者



MJでのキッズキッチン・勉強会・子どもの日企画の様子



アクション
プログラム
7-3

子どもを育てる親世代への支援の拡充
(親同士がつながる環境づくり, 相談体制づくり等)

子どもへの支援だけでなく、親世代が抱える課題解決のための支援も必要となっています。子どもへの支援だけでなく、親世代が抱える課題の解決に関わる支援も必要となっています。

子育てに関する相談体制の充実や親世代の地域での子どもへの支援の活動等への参加を促す仕組みづくりを進めるとともに、学校・PTA・地域が連携した親同士の情報共有や相互理解など交流を深める取組を検討、充実させていきます。

具体的な取組	内容	重点	取組段階	取組主体
51 親同士の情報共有, 相互理解, 支え合う環境づくり	挨拶活動や子ども見守り・パトロール活動, 交流等を通して, 親同士の情報共有や相互理解を深め, 支えあう環境づくりについて検討, 実施します。		継続検討	住民団体等
52 子どもを育てる親世代への支援の拡充	子どもを育てる親世代の相談体制づくり, 親の意識を変え, 参加を促す仕組みづくり等を検討し, 親への支援を拡充します。	●	継続検討	住民団体等 京都市

